

迫りくる大地震に備えましょう

神奈川県および東京都を中心に広い範囲に甚大な被害をもたらした、関東大震災から100年が経ちます。地震はいつ発生するかわかりません。「どんなことが起こりえるのか」「今できることはなにか」を考え、命を守る準備をしましょう。

南区の被害想定は？

市内の被害が最も大きいと想定されている元禄型関東地震の想定データでは、市内の最大震度は7、区内は震度6弱～震度7の揺れが想定されています。

強い揺れによる建物半壊棟数
12,667棟



火災による建物焼失棟数
11,795棟



上水道の断水世帯数
26,367世帯



電力停電世帯数
27,610世帯



震度の揺れの目安は？

震度6弱
立っていることが困難になる。固定していない家具の大半が移動し、倒れるものもある。

震度6強
固定していない家具のほとんどが移動し、倒れるものが増える。

震度7
はわないと動くことができず、耐震性の低い木造建築物は倒れるものが増える。



災害時の医療について 知っておきましょう

災害時(震災時)には、医療機関は「緊急度」「重症度」に応じて分担して診療します。普段から、軽傷の場合に受診できる自宅や職場近くの診療所を確認しておきましょう。



災害時に診療が受けられる診療所、開局している薬局は、黄色い旗が目印です。

南区近辺の災害拠点病院・災害時救急病院についてはこちら
南区 災害医療体制で検索



ワンポイントアドバイス

持病により薬を服用している人は、お薬手帳を日頃から携帯しましょう。

災害時のお口のケアは、肺炎や全身の病気の悪化を防ぎます。防災用品として歯磨きセットを用意しましょう。

区内の医師会、歯科医師会、薬剤師会、横浜市災害支援ナースと連携して災害時の医療体制を整えています。

☎ 事業企画担当 ☎ 341-1183 ☎ 341-1189



ペットのために備えましょう

迷子にならないために
名札やマイクロチップを装着し、迷子になっても飼い主の連絡先が分かるようにしておきましょう。また、犬鑑札や狂犬病予防注射済票は常に首輪に装着しましょう。

マイクロチップ
犬鑑札
狂犬病予防注射済票

「災害時ペットカード」
ペットの情報を記載し、飼い主と一緒の写真を貼付します。ペットを預けたり、迷子になった時に役立ちます。
→区役所4階43番窓口で配布中!

備蓄をしましょう
地域防災拠点および避難所にはフード・水やケージなどのペット用品はありません。1週間分以上のフードや水、服用中の薬、また、ペットシートやトイレ砂、お気に入りのおもちゃなどを入れた「ペット用非常持出袋」を準備しましょう。

基本的なしつけと健康管理をしましょう
避難先で不必要に吠えたり、ほかのペットに感染症等を広げないために必要です。

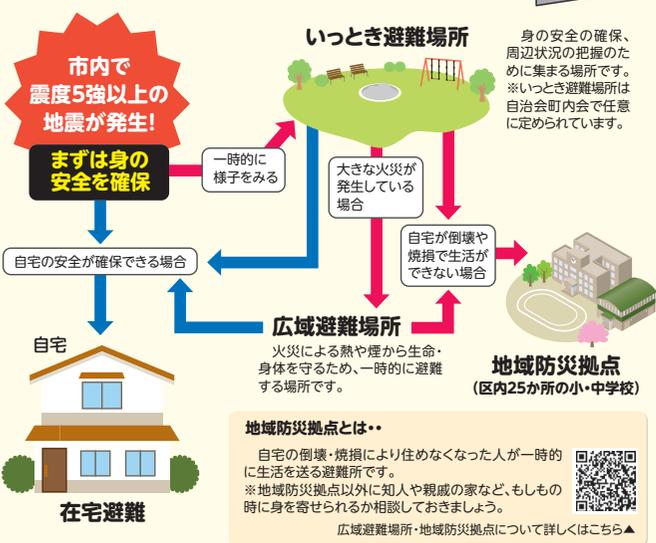
一時預け先を確保しておきましょう
地域防災拠点や避難所に連れていけない場合に備えて、親戚、知人、動物病院、民間施設などを探しておきましょう。

～詳しくは、パンフレットやウェブページをご確認ください～

災害時のペット対策
災害時のペット対策(震災)はこちら
災害時のペット対策(風水害)はこちら

横浜市 災害時のペット対策について 検索

いざという時の避難行動を再確認しましょう



室内でとるべき対策を確認しましょう

家具
大きな家具は倒れてこないように、家具転倒防止器具でしっかりと固定する。

扉・戸棚
扉が開いて食器等が飛び出さないように留め具等を取り付ける。

テレビ
テレビや台、花瓶など、倒れる可能性があるものは固定する。

窓ガラス
ガラス飛散防止フィルムを貼る。

PICK UP 1
南区には木造住宅密集地域が多くあります。とりわけ電気火災に注意し、火を出さないための備えをしましょう。
電気火災を防ぐのに効果的な感震ブレーカーについてはこちら

PICK UP 2
備蓄品の準備はできていますか?詳しくはみなみ防災ガイドを確認しましょう。
みなみ防災ガイドはこちら

☎ 防災担当 ☎ 341-1225 ☎ 241-1151

☎ 防災担当 ☎ 341-1225 ☎ 241-1151

☎ 環境衛生係 ☎ 341-1192 ☎ 341-1189